

# **ClearOne®**

MAX® Wireless

設置および操作マニュアル



## テクニカルサポート

電話: +1-800-283-5936 (米国)または  
+1-801-974-3760  
ファックス: +1-801-977-0087  
電子メール: [tech.support@clearone.com](mailto:tech.support@clearone.com)  
ホームページ: [www.clearone.com](http://www.clearone.com)

## Max Wireless設置および操作マニュアル

CLEARONE PART NO. 800-158-001 2012 年1月(バージョン4.1)

米国特許 NO. D499, 392. その他特許審理中。

© 2012 ClearOne Communications Inc. All rights reserved. 本書の一部または全てを、ClearOne Communicationsの書面による事前の許可なく、いかなる形式や方法によっても複製することを禁じます。ClearOne Communicationsは特権を保持します。本書に記載された内容は予告なしに変更されることがあります。

## 目次

第 1 章：序章	1
サービスとサポート	1
製品の返品	1
製品の開封	2
安全上の注意	2
第 2 章：はじめに	5
MAX Wirelessのアナログ電話回線への接続	5
MAX Wirelessのデジタル(PBX)電話回線への接続	7
Max Wireless電話会議装置の使用方法	8
第 3 章：ユーザーオプション	10
コール機能	10
プログラムされている機能	11
アラート音	13
第 4 章：MAXATTACH WIRELESS	14
MAXAttach Wireless電話会議装置の使用	14
第 5 章：メンテナンス	15
MAX Wirelessの取り扱い	15
電気に関する注意事項	15
トラブルシューティング	15
付録	17
仕様	17
規格への準拠	18
保証	21



# 第1章：序章

ClearOne® MAX® Wireless電話会議装置をご購入いただき、ありがとうございます。MAX Wirelessは、最大参加人数が8名までの小会議室での使用に最適で、音質と安全性を損なうことなくワイヤレス標準(モデルにより異なる)を使用して設計されています。

MAX Wirelessは、信頼性、安定性および最良の音質を特徴とするWDCT方式を使用しています。また、1回の充電につき12時間の会話が可能ですから、MAX Wirelessによる他にはないコミュニケーション手段を十分に体験していただくことができます。

MAX Wirelessでは次のような主要な利点をご実感いただけます：

- ・ **ワイヤレスがもたらす自由度：** MAX Wirelessを使用すると、配線をテーブルや床の上に散らかすことなく、どのような場所もすっきりとした会議室にすることができます。
- ・ **高品質音声：** MAX Wirelessの、業界をリードする明瞭度の高いはっきりとした音声により、会議の参加者はより自然に会話することができます。
- ・ **使いやすさ：** MAX Wirelessの操作は直感的で利用者にとって非常にわかりやすく、簡単に操作することができます。

## サービスとサポート

Max Wireless電話会議装置の設定または操作方法についての追加情報が必要な場合は、弊社までお問い合わせください。弊社では、お客様のご意見をお待ちしております。頂いたご意見を基に、製品の品質向上とお客様のご要望を満たす努力を続けてまいります。

### テクニカルサポート

電話： +1-800-283-5936 (米国)または  
+1-801-974-3760  
ファックス： +1-801-977-0087  
電子メール：[tech.support@clearone.com](mailto:tech.support@clearone.com)  
ホームページ：[www.clearone.com](http://www.clearone.com)

### 販売およびカスタマーサービス

電話： +1-800-945-7730 (米国)または  
+1-801-975-7200  
ファックス： +1-800-933-5107 (米国)または  
+1-801-977-0087  
電子メール：[sales@clearone.com](mailto:sales@clearone.com)

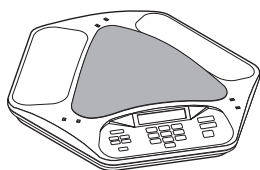
## 製品の返品

製品を返品される際には、製品返還承認(RMA)番号が必要になります。製品を返却される前に、ClearOneテクニカルサポートまでお問い合わせください。製品に同梱されているすべての付属品を返品してください。

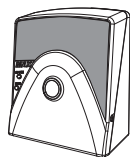
## 製品の開封

以下のすべての部品が揃っていることを確認してください。開封したら、MAX Wireless 電話会議装置とベースユニットを水平な場所に置きます。

### MAX Wireless パッケージ同梱物



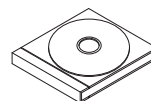
電話会議装置



ベースユニット



クイックスタートガイド



マニュアルCD



電源コード



電話コード



バッテリーパック



電源供給ケーブル



電源供給/充電器

**注意:** MaxAttach Wireless モデルには電話会議室装置2台、バッテリーパック2個、電源供給/充電器やケーブル2個が入っています。詳細については、14ページを参照してください。

ClearOneは、発送時に発生した製品の破損に対して責任を負いません。申し立ては運送業者に直接行ってください。発送品が明らかに破損した箇所がないかを慎重に調べてください。発送品に破損箇所が見つかった場合は、運送業者が調査できるように、元の箱と梱包製品を保管しておいてください。また、その場合はすぐに運送業者に連絡してください。

## 安全に関する重要な情報

本製品を最初に使用する前に、安全上の注意事項をお読みください。本電話機器は、電源が落ちた状態で緊急通報ができるようには設計されていません。緊急サービスにアクセスする別の方法を準備しておいてください。

- すべての注意事項を読んで理解してください。
- 本製品に関するすべての警告と指示に従ってください。
- 本製品のお手入れをする前に、製品のプラグを電源コンセントから抜いてください。液体洗剤やスプレー式の洗剤を使用しないでください。お手入れには湿った布を使用してください。
- 本製品を、湿気の多い場所(風呂場、洗面台、台所の流し台、プールの近くなど)で使用しないでください。
- 本製品を、ぐらついた台の上やテーブルに置かないでください。
- キャビネットとその背面または底辺のスロットおよび開口部分は、過熱から保護するための通気孔になっているので、これらの開口部分をふさいだり布などで覆ったりしないでください。
- 本製品を、ラジエーターまたは熱器具の上に置いたり近づけたりしないでください。適切な通気が確保できない限り、本製品を内蔵させて使用しないでください。
- 表示ラベルに示す種類の電源以外を使用して本製品を操作しないでください。お使いの地域での電源の種類がわからない場合は、販売店またはお住まいの地域の電力会社にお問い合わせください。
- 火災や感電が発生する危険性があるため、電源コンセントと延長コードを使い過ぎないようにしてください。
- 危険な電圧点やショートする部分に触れて火災や感電が発生する危険性があるため、キャビネットスロットから本製品に異物を押し込まないでください。
- 本製品を液体で濡らさないでください。
- 感電の危険性を減らすために、本製品を分解しないでください。カバーを開いたり取り外したりすると、危険な電圧などのリスクが生じる場合があります。不正な再組み立ては、その後の使用時の感電の原因となります。

- 次の条件に当てはまる場合、本製品のプラグをコンセントから抜いて、資格を持つサービス担当者にお問い合わせください。
  - » 電源コードまたはプラグが破損したり擦り切れた場合。
  - » 本製品が液体で濡れた場合。
  - » 操作の指示に従っても、本製品が正しく作動しない場合。
  - » 本製品を落としたり、破損した場合。
  - » 本製品のパフォーマンスに明らかな変化が見られる場合。
- 雷雨時は電話の使用を避けてください。稲妻による感電の危険性がわずかに生じる場合があります。
- ガス漏れ地点の近くでガス漏れの報告に本製品を使用しないでください。
- 集中治療用の医療機器やペースメーカーを使用している患者の近くで本製品を使用しないでください。
- ベースステーションとPOD間の無線信号により、補聴器にブーンという雑音が入る場合があります。
- 本製品を留守番電話、テレビ、ラジオ、コンピュータ、電子レンジなどの電気機器に近づけすぎると、これらの機器が正しく動作しなくなる場合があります。

## 電話配線と電話ジャックに関する情報

火災や人体への損傷の危険性を減らすために、次の内容を読みその指示に従ってください。



- 電話線の取り付けまたは変更は、十分に注意して行ってください。
- 雷雨時は電話の取り付けを行わないでください。
- 電話ジャックが湿気の多い場所に対応するよう特別に設計されている場合は、電話ジャックを湿気の多い場所に取り付けしないでください。
- 電話線がネットワークインターフェースから切断されている場合は、非絶縁型の電話配線またはターミナルに触れないでください。

## バッテリー情報

火災や人体への損傷の危険性を減らすために、次の内容を読みその指示に従ってください。

- バッテリーパックの交換時には、製品のコンセントを抜いてください。
- 本マニュアルにリストされている種類のバッテリーパックのみを使用してください。リチウムバッテリーを使用しないでください。
- 破壊の危険性があるので、バッテリーパックを可燃物として処理しないでください。バッテリーの処理規則については、お住まいの地域の条例を確認してください。
- バッテリーパックを開けたり解体したりしないでください。濡れた電解液には腐食作用があり、目や肌を傷める可能性があります。飲み込んだ場合、人体に有害性があります。
- バッテリーパックの取り扱い時には、指輪、ブレスレット、鍵、またはその他の金属性物質に接触しないようにしてください。バッテリーがショートしたり、導線が加熱してやけどの原因となります。
- バッテリーパックを加熱して再充電しないでください。バッテリーを急に取り外すと、電解液により、やけどまたは目や肌の炎症の原因となります。
- 本製品を数ヶ月間使用する予定がない場合は、バッテリーパックを取り外してください。その期間にバッテリーが漏れ出す可能性があるためです。
- 漏電が発生する可能性があるため、使用不能になったバッテリーパックはすべてすぐに破棄してください。

**警告：火災や感電の危険性を防ぐため、本製品に雨水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにしてください。**

 <p>三角形の中に稲妻および矢が描かれた警告マークは、製品内の電圧の危険性を示します。</p>	<p style="text-align: center;"><b>注意</b></p> <p style="text-align: center;"><b>感電の危険性 開けないでください</b></p> <p>警告：感電の危険性を防ぐためカバー（または裏面）を取り外さないでください。製品内部にユーザーが修理できる部品は含まれていません。資格を持つサービス担当者にサービスを依頼してください。</p>	 <p>三角形の中に感嘆符が描かれた警告マークは、本製品に付属される重要な指示を示します。</p>
本製品の底面および裏面の表示マークを確認してください。		

- 本製品またはバッテリーパックを高温の場所に保管しないでください。バッテリーパックを低温に曝した場合は、ご使用前に室温で安定させてから使用してください。
- お使いのバッテリーパックは再充電可能であり、寿命に達してもリサイクルできます。お住まいの地域の法令によっては、一般廃棄物処理システムにおのバッテリーを廃棄すると違法になる場合があります。バッテリーパックのリサイクルオプションの詳細については、お住まいの地域の廃棄物処理会社にご確認ください。

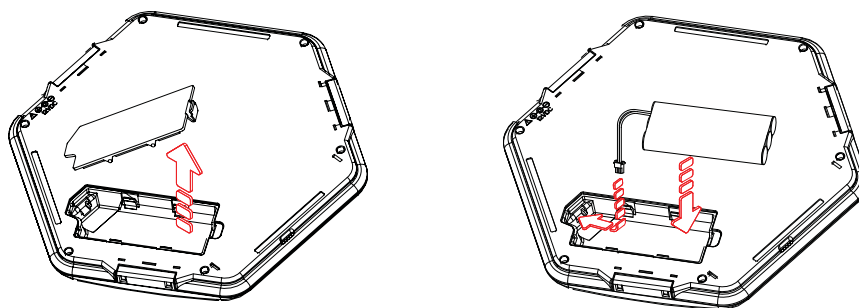
**以下の指示を守ってください**



## 第2章: はじめに

### MAX WIRELESSのアナログ電話回線への接続

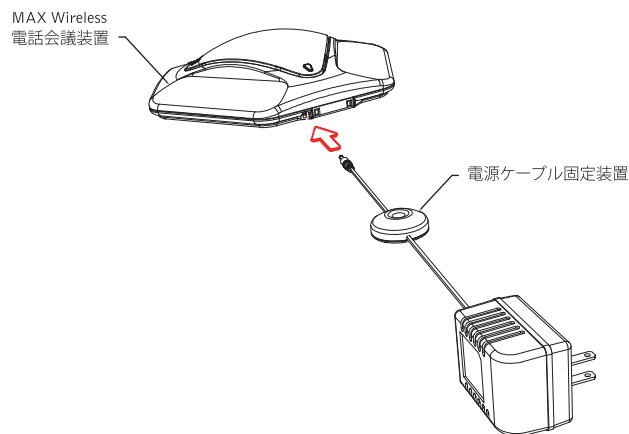
1. 装置の裏面にあるバッテリーコンパートメントのカバーを外します (左下図参照)。



2. コンパートメントのポートにバッテリーパックのプラグを接続し、バッテリーパックを挿入してカバーを元の位置に戻します (右上図参照)。



**注意:**本ユニットに付属のバッテリーパックのみを使用してください。製造元が推奨する同じまたは同等のタイプのバッテリーパックと交換してください。間違った種類のバッテリーと交換すると、破裂の危険性があります。詳細な支援が必要な場合はClearOne テクニカルサポートまでお問い合わせください。

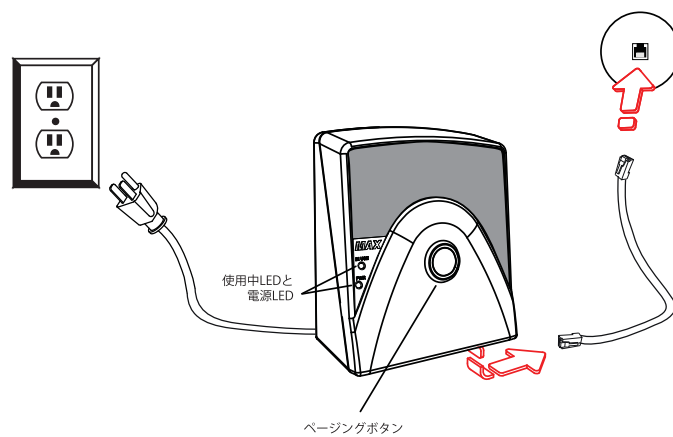


3. 電源アダプターを電話会議装置に接続して、プラグを電源コンセントに差し込みます (上図参照)。最初のご使用前にはバッテリーパックを最低15時間充電してください。



**注意:**本ユニットに付属の電源アダプターのみを使用してください。ほかのアダプターを使用すると、ユニットが損傷する可能性があります。

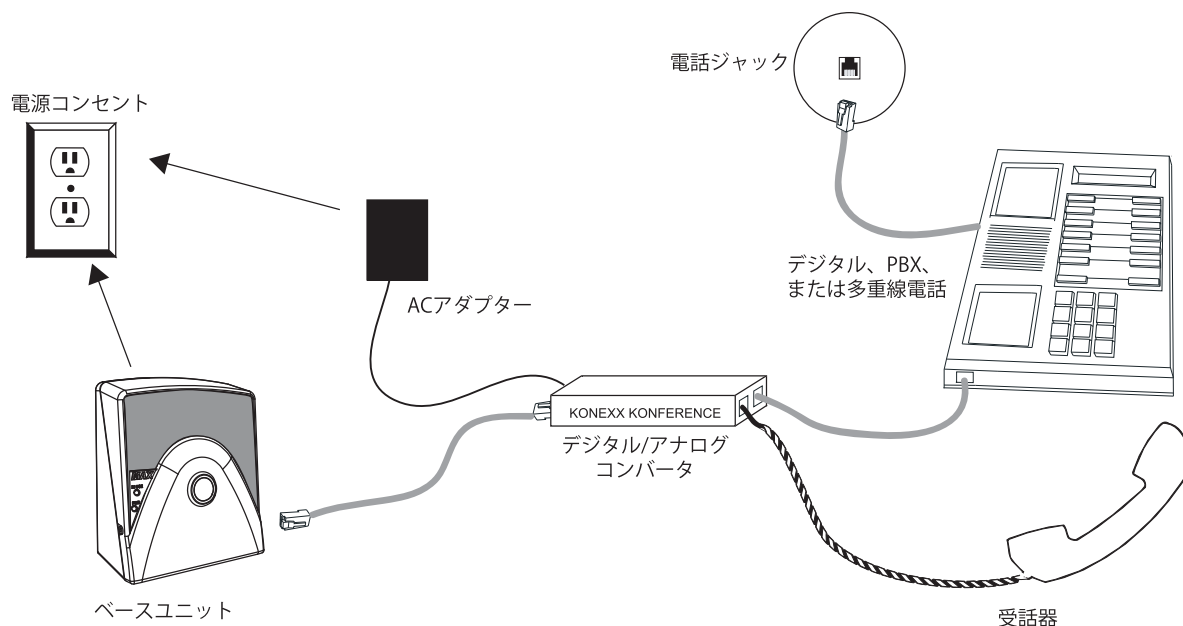
4. 電話回線をベースユニットに接続し、もう一方の端を壁の電話回線用ジャックに差し込みます。電源ケーブルをベースユニットに接続し、他端をACコンセントに差し込みます(下図参照)。



5. 録音装置を2.5mmのモノラルオーディオジャック(必要な場合)に接続します。

## MAX WIRELESSのデジタル(PBX)電話回線への接続

MAX Wireless電話は、デジタル/アナログコンバーターを使用してPBX に接続できます。MAX Wireless電話をデジタル(PBX)回線に接続するには、下図を参照して手順に従ってください。



1. 電源ケーブルの先端をベースユニットの裏面にある電源ジャックに接続し、もう一方の先端をデジタル/アナログコンバーターに接続します。
2. コンバーターのアダプターを電源コンセントに差し込みます。
3. コンバーターの2番目の電話ケーブルをデジタル電話またはPBX電話に接続します。詳細については、コンバーターのユーザーマニュアルを参照してください。
4. 電源ケーブルをベースユニットに接続し、他端をACコンセントに差し込みます。

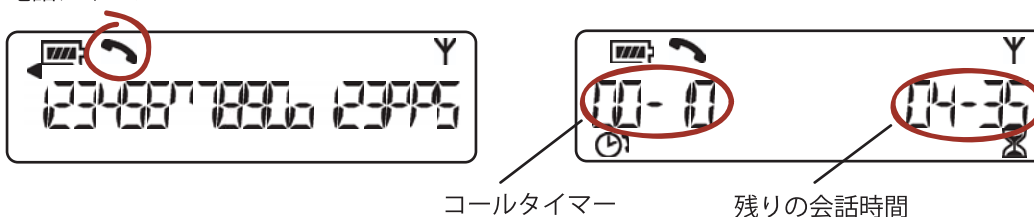
**注意:** 注意: デジタル/アナログ電話回線コンバーターを使用せずにMAX Wireless電話をデジタル(PBX)に直接接続しないでください。取り返しの付かないダメージを与えることがあります。支援が必要な場合はClearOne テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## MAX WIRELESS 電話会議装置の使用法

### 電話をかけるには

1. [ON/OFF(オン/オフ)]キーを押すと、発信音が聞こえます。
2. 通常の電話の場合と同様に、番号をダイヤルします。LCD画面に番号が表示されます。

#### 電話アイコン



**注意:** また、スタンバイ(非作動)モードで番号をプリダイヤルしてから、[ON/OFF(オン/オフ)]キーを押して電話をかけることもできます。番号のダイヤルの中にポーズを入れるには、シャープキー(#)を押し続けます。

通話経過時間は、1時間以内の場合分秒単位で表示されます(上図参照)。1時間が経過すると、時間単位で表示されます。バッテリーの残量(通話時間)はLCD画面の右側に表示されます。オフフック状態(受話器が上がって発信準備が出来てる状態)は、画面左上に電話のアイコンで表示されます。

### 電話に応答するには

1. どんなキーボードを押してもコールを受信することができます。(アスタリスク(\*)キー、**MUTE**(音消去)、**VOLUME UP**(音量を上げる)または**VOLUME DOWN**(音量を下げる)を除きます。)
2. コールが着信すると電話が鳴り、電話のLEDとLCD画面の電話アイコンが点滅します(下図参照)。

#### 電話アイコン



### 通話を終了するには

1. [ON/OFF(オン/オフ)]キーを押すと、通話が切断されて、電話がスタンバイモードに戻ります。

### 番号をリダイヤルするには

1. [ON/OFF(オン/オフ)]キーを押すと、発信音が聞こえます。
2. [REDIAL(リダイヤル)]を押すと最後に呼び出した番号がダイヤルされます。

**注意:** また、スタンバイモードで[REDIAL(リダイヤル)]を押すと最後に呼び出した番号が表示されます。電話をかけるには、[ON/OFF(オン/オフ)]キーを押します。

### 呼び出し音の音量を調整するには

- 電話が鳴っているときに、[VOLUME UP(音量を上げる)]または[VOLUME DOWN(音量を下げる)]を押します。
- または、電話が非作動中に[VOLUME UP(音量を上げる)]または[VOLUME DOWN(音量を下げる)]を押します。

## 電話の音を消すには

- [MUTE (音消去)]を押すと、電話の消音機能をオンになります。
- もう一度押すと、消音機能はオフになります。

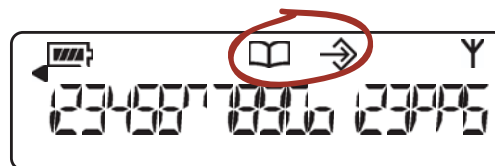
## 電話帳を使用して電話をかけるには

1. [ON/OFF (オン/オフ)]キーを押すと、発信音が聞こえます。
2. [PHONEBOOK (電話帳)]を押します。
3. ダイヤルする電話番号の保存場所と対応する数字キー(0~9)を押します。この機能はご使用前にプログラムする必要があります。図8を参照してください。追加情報はプログラム機能を参照してください。

## 電話帳に番号を保存するには

1. 電話会議装置がスタンバイモードのときに、保存する電話番号を入力します。
2. LCD画面に電話帳アイコンとプログラムアイコンが表示されるまで、[PHONEBOOK/EDIT (電話帳/編集)]キーを押し続けます(下図参照)。

電話帳アイコンとプログラムアイコン



## 電話帳アイコンとプログラムアイコン

1. 対応させる数字キーを押して、電話帳の場所(0~9)を割り当てます。
2. もう一度[PHONEBOOK/EDIT (電話帳/編集)]を押して、エントリを保存します。確認音がなります。
3. エントリを保存せずに電話帳の編集モードを終了するには、[CLEAR (クリア)]を押します。

**注意:** 1を押し続けてハイフン(-)を入力するか、\*キーを押し続けて電話番号の間にスペースを入力します。電話番号がすでにプログラムされている場合、新しい番号を入力する前に**CLEAR (クリア)**を使用して古い番号を解除します。

## スピードダイヤル番号にアクセスするには

- [SPEED DIAL]キーを押します。この機能はご使用前にプログラムする必要があります。追加情報はプログラム機能を参照してください。

## サービスセンターにアクセスするには

- スタンバイモードで、0キーを2秒間押し続けます。この機能はご使用前にプログラムする必要があります。追加情報はプログラム機能を参照してください。

## 第3章：ユーザーオプション

### コール機能

前章で説明した基本的な電話の操作のほかに、通話中次のようなコール機能を実行できます。

- ・ パルスダイヤルへの変更
- ・ 点滅信号の送信
- ・ 電話番号の表示
- ・ スピーカー音量の調整
- ・ 呼び出し音のオン/オフ。

上記機能は以下のセクションでご説明いたします。

#### パルスダイヤルを使用するには

MAX Wirelessではデフォルトでトーンダイヤルが使用されています。通話中にトーンダイヤルを一時的にパルスダイヤルに変更することができます。

- ・ アスタリスク(\*)キーを押すと、特殊文字が表示されます。この文字の後ろに入力するすべての数字では、パルスダイヤルが使用されます。通話が終了すると、ダイヤルモードはトーンダイヤルに戻ります。

**注意：** 19文字以上入力すると、LCD画面にスクロールボタンが表示されて数字が右から左にスクロールされます。

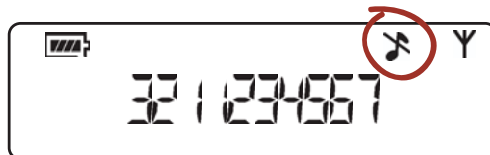
#### 点滅信号を送信するには

お使いの電話サービスに、電話の転送、キャッチホン、会議電話などの通信業者による機能が付いている場合は、フラッシュ(点滅)キーを使ってそれらの機能を有効にします。詳細については、お住まいの地域の電話サービスをご確認ください。

#### 通話中に地域の電話番号を表示するには

- ・ [CLEAR(クリア)]を押します。電話番号が表示されます。数秒後に、表示がコールタイマーに戻ります。

呼び出し音オフ



#### スピーカーの音量を調整するには

- ・ 通話中に[VOLUME UP(音量を上げる)]キーを押すと、音量が上がります。
- ・ 通話中に[VOLUME DOWN(音量を下げる)]キーを押すと、音量下がります。

#### 呼び出し音のオン/オフを切り替えるには

- ・ アスタリスク(\*)キーを押し続けます。呼び出し音をオフにすると、呼び出し音オフアイコンが点灯します。呼び出し音がオンになっていると、このアイコンは表示されません(上図参照)。

#### 電話音を消去するには

- ・ 呼び出し音を消すためには\*(アスタリスク)またはMUTE(音消去)キーを着信音が消えるまで押します。

## プログラムされている機能

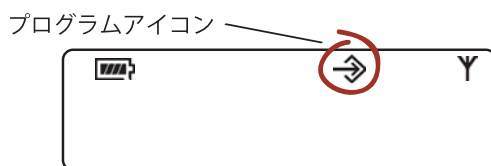
使用環境を個別に設定しより使いやすくするために、MAX Wireless では次のような機能をプログラムできます。

- ・ 呼び出しメロディー
- ・ ダイヤルモード
- ・ 点滅時間
- ・ 地域の電話番号
- ・ スピードダイヤル番号
- ・ サービスセンターの番号
- ・ AGC/ALC(自動利得機能/自動レベル制御)機能.

出荷時のデフォルト設定を復元することもできます。次のセクションでは各機能のプログラム方法をご説明します。

### プログラムモードに入る

1. プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]キーを押し続けます(下図参照)。



### プログラムアイコン

1. **1**を押して、呼び出しメロディーメニューを表示します。ここでは5種類のメロディーから選択することができます。
2. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。現在のメロディーが点滅します。
3. キー**1**~**5**を押すと、それぞれに対応するメロディーが再生されます。選択したメロディーは1回再生されます。
4. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、選択内容を保存します。
5. [CLEAR(クリア)]を押してプログラム操作を終了します。

### ダイヤルモードを変更するには

1. プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]キーを押し続けます。
2. **2**を押して、点滅時間メニューを表示します。ダイヤルモードにはトーンとパルスの2種類があります。現在のダイヤルモードが表示されます(トーンの場合はT、パルスの場合はP)。
3. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。現在のモードが点滅します。
4. トーンを選択するには**1**を、パルスを選択するには**2**を押します。
5. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、選択内容を保存します。
6. [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

### 点滅時間を変更するには

1. プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]キーを押し続けます。
2. **3**を押して、点滅時間メニューを表示します。現在の時間設定が表示されます(単位はミリ秒)。時間設定には次の5つがあります: 600、300、150、100、80。
3. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。現在の時間設定が点滅します。
4. キー**1**~**5**を押して新しい時間設定を選択します。
5. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、選択内容を保存します。
6. [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

### 地域の電話番号をプログラムするには

1. プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押し続けます。
2. **4**を押して、点滅時間メニューを表示します。
3. [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。

- 地域の電話番号を入力します。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、番号を保存します。
- [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

**注意:** 1 を押し続けてハイフン(-)を入力するか、\*キーを押し続けて電話番号の間にスペースを入力します。電話番号がすでにプログラムされている場合、新しい番号を入力する前に CLEAR(クリア)を使用して古い番号を削除します。

#### スピードダイヤル番号をプログラムするには

- プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押し続けます。
- 5を押して会議メニューを表示します。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。
- 電話番号を入力します。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、番号を保存します。
- [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

**注意:** 1 を押し続けてハイフン(-)を入力するか、\*キーを押し続けて電話番号の間にスペースを入力します。電話番号がすでにプログラムされている場合、新しい番号を入力する前に CLEAR(クリア)を使用して古い番号を削除します。

#### サービスセンターの番号をプログラムするには

- プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押し続けます。
- 6を押してサービスセンターのメニューを表示します。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押します。
- 0キーを押して、MAX Wirelessにダイヤルさせる番号を入力します。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して、番号を保存します。
- [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

**注意:** 1 を押し続けてハイフン(-)を入力するか、\*キーを押し続けて電話番号の間にスペースを入力します。電話番号がすでにプログラムされている場合、新しい番号を入力する前に CLEAR(クリア)を使用して古い番号を削除します。

#### 出荷時のデフォルト設定を復元するには

- プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、[REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押し続けます。
- 9を押し続けます。LCD画面上に番号8が表示されます。
- [REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)]を押して選択内容を確定します。
- [CLEAR(クリア)]を押して終了します。

#### 自動利得調整回路(AGC)および自動出力調整回路(ALC)機能をプログラムするには

設定	スピーカー AGC	マイク ALC
1	On (オン)	On (オン)
2	On (オン)	Off (オフ)
3	Off (オフ)	On (オン)
4	Off (オフ)	Off (オフ)

- プログラムアイコンがLCD画面に表示されるまで、REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)を押し続けます。
- 8を押し続けます。現在選択されているAGCモードがLCD画面に表示されます。
- REDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)を押します。現在選択されている設定番号が点滅します。
- 上記のAGC/ALC表を使って新しく設定する番号を入力します。
- 選択したモードを保存するにはREDIAL/PROG(リダイヤル/プログラム)キーを押します。
- 終了するためにはCLEAR(クリア)を押します。



## アラート音

下の表はMAX Wirelessが使用するアラート音の説明です。

発信音/アラート	説明
電源オフ	ベースユニットの電源がオフになっていると、電話のキーを押したときにビープ音が鳴ります。
確認	プログラムが正しく入力されると発信音が鳴ります。
無効	次のいずれかを実行すると発信音が鳴ります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 無効なプログラムを入力した場合</li><li>• スピードダイヤル番号またはサービスセンター番号でまだプログラムされていないスピードダイヤルキーを使用した場合</li><li>• プリダイヤル時に45桁の番号を入力した場合</li><li>• ユーザーの電話番号に17桁を入力した場合</li><li>• スピードダイヤル番号またはサービスセンター番号を入力する際にスピードダイヤルキーに31桁目を入力した場合</li></ul>
バッテリー不足	電話会議装置が電話モードの状態、バッテリーに充電が必要になると、警告音が60秒ごとに鳴ります。
範囲外の設置	電話会議装置が電話モードの状態、ベースユニットから離れすぎていると、警告音が30秒ごとに鳴ります。
ページング	ベースユニットのページングボタンを押すと、キーパッドの別のキーが押されるまで電話会議装置で大きなビープ音が30秒間鳴ります。

## 第 4 章: MAXATTACH WIRELESS

### MAXATTACH WIRELESS 電話会議装置の使用

MaxAttach Wireless製品は、二重の電話会議装置を使用します。MaxAttach Wireless電話会議装置は、付属するベースユニットと一緒に使用する場合にのみ作動します。ベースユニットと電話会議装置は、工場でプログラムされた後出荷され、一致する一連番号が与えられます。一連番号はベースユニット裏面と各電話会議装置の底部にあります。

単一電話会議装置と二重電話会議装置は、使用におけるいくつかの異なる点があります。詳細については、次の内容を参照してください。

#### コールを受信するには

- 電話がかかってくると両電話機が同時に鳴ります。呼び出しメロディーと音量は、各電話機の設定によります。一方の電話機の**ON/OFF** (オン/オフ) を押すと両電話機が同時に作動します。

#### 電話中の場合

- スピーカーの音量を変更したり、マイク音を消去するか消去を解除すると、両電話機は同時に変更された設定が適用されます。
- バッテリーが不足しているか範囲を外れることにより電話機とベースユニットの接続が切れても残りの電話機で通話できます。

#### 通話を終了するには

- 一方の電話機の**ON/OFF** ((オン/オフ) を押します。両電話機がスタンバイモードに戻り、他のコールを受信することができます。

## 第 5 章: メンテナンス

### MAX WIRELESSの取り扱い

- Max Wirelessに関するすべての報告と指示に従ってください。
- お手入れをする前にベースユニットと電話会議装置のプラグをコンセントから抜いてください。
- 液体洗剤やスプレー式の洗剤を使用しないでください。電話会議装置の外側やベースユニット、電源は水で濡らした布を使用して拭いてください。

### 電気に関する注意事項

- 電話会議装置に同梱されている電源アダプターのみを使用してください。
- 電話に付属のバッテリーパックのみを使用してください。

### トラブルシューティング

MAX Wirelessに問題が発生する場合、適切に設定または接続されていない、あるいは他の機器が正常に作動していない可能性があります。次のチェックリストと次ページのチャートを利用して故障箇所を突きとめ解決してください。

#### 接続チェックリスト

- Max Wirelessのベースユニットのプラグが適切な電圧の電気コンセントに差し込まれて、電源ランプが点灯している。
- 装置部分のバッテリーパックが完全に充電されて、正しく差し込まれている。
- ベースユニットの電源コードが電話の壁面ジャックに安全に接続されている。
- 相手先が使用している他社製機器の品質がMAX Wireless 電話会議装置の品質と同等であり正しく作動している。Max Wirelessを品質の低い製品とともに使用することもできますが、会議の相手側が品質の低い機器を使用していると、会議の質が低下します。

## トラブルシューティング表

聞こえる音	考えられる理由	考えられる解決法
ダイヤル前の ビープ音	装置部分が範囲外に 設置されている。 ベースユニットの 電源がオフになっている。	装置部分をベースユニットの近く に移動する。 ベースユニットのプラグが電源 コンセントに差し込まれていて、 電源LEDが点灯していることを 確認する。
ダイヤル音が しない	ベースユニットが 電話ジャックに接続 されていない。 アナログの電話線を 使用していない。	同梱の電話ケーブルを使用して ベースユニットを電話ジャックに 接続する。 アナログの電話線を使用している ことを確認する。社内のIT部門に 連絡してサポートを依頼する。
雑音または ノイズ	電話の接続状況が 悪い。  電話線に不具合がある。  相手先の部屋が騒がしい。	電話を設置し直して別の線で接続 状況が改善されるかどうかを確認 する。  使用している電話のプラグを電話 ジャックに差し込む。それでも ノイズが続く場合は、お近くの 電話会社にお問い合わせしてく ださい。  相手先に連絡をして、ノイズを 発生させている機器の電源をオフ にしてもらうよう依頼する。
コールを受信 できるが、 発信できない	ダイヤルモード (トーンまたはパルス) がお使いのサービスに 正しく設定されていない。	ダイヤルモードの変更手続きに ついては、「コール機能」を参照。
音質の低下	建築構造によって電話 の範囲が制限されている。 末端機器の品質が低い。	ベースユニットを電話の近くに 移動する。 機器のアップグレードが必要。 会議参加者が機器の近くに着席 して周囲の騒音をなくす。

# 付録

## 仕様

### 寸法(W×D×H)

電話部分: 26.7 cm×26.7cm×7.6cm  
ベースユニット: 10.8cm×14cm×6.4cm

### 重量

電話部分: 1.2kg  
ベースユニット: 0.27kg  
配送時: 4.5kg

### 使用環境

操作温度: 0~48°C  
保管温度: 5~70°C  
操作湿度: 15~80%  
保存湿度: 10~90%

### 電源

装置部分:  
カスタム仕様のバッテリーパック  
(ニッケル金属水素 化合物バッテリー)、  
7.2V 2200 mAh  
12時間の連続通話(標準)

ベースユニット:  
自動調整機能付きの電源モジュール  
100~240VAC、50/60 Hz

### 電話接続

アナログPBX (D/Aコンバーター経由)  
またはPSTN回線  
RJ-11C/CA11A、-12dBm nominal

### キーパッド

標準の英数字キーパッド

### スピーカーの音量

90 dBspl A weighted @1 ft  
帯域幅: 200Hz~3.3kHz

### 無線周波数

2.4 GHz WDCT  
(4) 32kbps全二重

### レコード出力

コネクター: 2.5mm モノラル  
オーディオジャック インピーダンス: <1000 ohms  
帯域幅: 200Hz~3.3kHz  
ダイナミックレンジ: 60dB  
THD < 0.01%

### エコー消去

テールタイム: 128 ms×3

### ノイズ消去

ダイナミックノイズ消去

### 設定

FCCパート15/ICES-003クラスA  
FCCパート68/IC CS-03  
CE  
UL、C-UL Certified

### 保証

2年間。最新の保証情報は、当社サイトを参照  
してください:  
[www.clearone.com/warranty.php?content=main](http://www.clearone.com/warranty.php?content=main).

### モデル

MAX Wireless WDCT\*

\*個々の部品番号については当社営業担当者に  
電話にてお問い合わせいただくか、当社サイト  
[www.clearone.com](http://www.clearone.com)をご利用ください。

## 規制への準拠

### FCCパート15/ICE-003への準拠

本機器は、FCC規格のパート15およびカナダ産業省のICES-003によって試験済みで、クラスAのデジタルデバイスの制限に準拠しています。これらの制限は、本機器を商用環境で使用する際に、有害な電波障害に関して適切な保護を提供するように設定されています。本機器は無線周波エネルギーを生成、使用および放射し、マニュアルに従って設置および使用しないと、無線通信に有害な電波障害を発生させる恐れがあります。本機器を住宅地で操作すると、有害な電波障害が発生しやすくなります。この場合、ユーザーは自費負担でその電波障害をなくす必要があります。

次の2つの条件に従って使用してください。(1)当該デバイスによって、有害な電波障害を発生させてはならない。(2)当該デバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のあるものも含め、すべての電波障害を受容しなければならない。

ClearOne Communicationsによって明示的に承認されない変更または修正によって、本機器を操作するユーザーの権限が無限になる場合があります。

### FCCパート15、サブパートC/RSS-210

#### ノイズ

電気パルスによるノイズは、ほとんどの企業で常に発生しています。ノイズは雷雨時に最も激しくなります。証明の調節器、蛍光灯、モーター、ファンなどの特定の電気機器類も、パルスのノイズを生成します。無線周波はこのノイズに影響されやすいため、スピーカーからパルスのノイズが聞こえる場合がよくありますが、通常はわずかに不快な音であるだけで、本装置の不具合ではありません。

#### RF放射線被爆

本機器は、管理されていない環境用のFCC RF放射線被爆の制限に準拠しています。本機器は、ラジエーターおよび人体から20cm以上離れて設置および操作する必要があります。

### FCCパート68/IC CS-03への準備

#### US:FBIMT01B9101580001 リンガ等値番号(REN):0.1B(ac)

本機器は、FCC規制のパート68と、ACTAによって発行された電話末端機器の技術要件に準拠しています。本機器のベースユニットの表示には、他の情報とともに本機器のUS番号とリンガ等価番号(REN)が記載されています。必要な場合は、契約している電話会社にこの情報を提供する必要があります。

RENによって、電話機と接続できるデバイスの数が決定されています。RENを超過すると、コールが着信しても機器が応答しなくなる場合があります。すべての地域ではありませんが、ほとんどの地域ではRENの合計は5.0を超えないようにする必要があります。RENの合計によって決定される電話線に接続可能なデバイス数を確認するには、通話地域の最大RENについての情報を電話会社にお問い合わせください。

本機器が原因で電話網に損害を与える場合、サービスの暫定停止について電話会社から事前に通告があります。事前通告が現実的に不可能である場合は、電話会社はできるだけ早期に通告します。その際、必要に応じてFCCに異議を申し立てる権利を有することも通告されます。

電話会社は本機器の動作に影響を与える、設備、機器、運用方法、または手順の変更を加えることがあります。このような場合、電話会社は顧客が必要な変更を加えてサービスの提供を中断せずに済むよう、事前通告を行います。

#### 注意事項

屋内の配線と電話網に本機器を接続するために使用されるプラグとジャックは、ACTAによって承認された該当するFCCパート68の規制と要件に準拠している必要があります。準拠する電話コードとモジュージャックはこの製品に同梱されています。製品は互換性のあるモジュージャックに接続できるように設計されており、このモジュージャックも規格に準拠しています。詳細については、設置手順を参照してください。

本機器で障害が発生する場合は、ClearOne Communications (1825 Research Way, Salt Lake City, Utah 84119)にお問い合わせください。また、修理および保証の情報については、+1-801-975-7200までお電話にてお問い合わせください。その障害が電話網に影響を与える場合、電話会社から問題が解決するまでその機器をネットワークから取り外すように要請されている場合があります。

この製品にはユーザーが修理できる製品は含まれていません。破損や誤作動が生じる場合は、その修理または返品についてClearOne Communicationsにお問い合わせください。

本機器は電話会社が提供するコインサービスは使用できません。パーティーラインサービスとの接続は、関税の対象となります。

## ICへの準拠

**IC: 1970A-158015**

**リング等価番号 (REN): 0.18(ac)**

### 注意事項

証明/登録番号の前に付いている「IC」は、カナダ産業省の技術要件を満たしていることを示しています。この証明は、本機器が電気通信網を保護する操作と安全の一定要件を満たしていることを意味しています。産業省は、機器の動作がユーザーの満足度に到達することは保証していません。

RENによって、電話線と接続できるデバイスの数が決定されます。RENを超過すると、コールが着信しても聞きが応答しなくなる場合があります。すべての地域ではありませんが、ほとんどの地域ではRENの合計は5.0を超えないようにする必要があります。RENの合計によって決定される電話線に接続可能なデバイス数を確認するには、通話地域の最大RENについての情報を電話会社にお問い合わせください。

本機器を設置する前に、ユーザーは本機器がお住まいの地域の電気通信会社の設置に対応していることを確認する必要があります。本機器は、接続の条件を満たす方法で設置される必要があります。単線の個人向けサービスに関連する会社の内部配線は、認証済みのコネクタアセンブリー（電話延長コード）によって延長される場合もあります。ユーザーは、上記条件の遵守によっても、特定状況下におけるサービスの低下を防止できないことを認識する必要があります。

認証済みの機器は、ClearOne Communicationsによって指定されたカナダの公認管理施設で修理される必要があります。ユーザーが本機器に対して修理または変更を加えた場合、または機器に誤動作がある場合、電気通信会社はユーザーに本機器の切り離しを要求できるものとします。

ユーザーは、電力設備、電話回線、および内部の金属水道管システムがアースとして使用されている場合には、これらの電気アースがまとめて接続されていることを確認してください。この注意は、特に郊外で重要になります。

## 「WEEE指令2002/95/EC」(欧州の電気・電子機器の廃棄物に関する指令):

ClearOneはWEEE 指令に準拠しています。各国別の回収、リサイクル情報は当社ウェブサイトを参照してください：  
[www.clearone.com/support/recycling.php?content=main](http://www.clearone.com/support/recycling.php?content=main)

## ヨーロッパにおける準拠情報

装置の以下のガイドラインに対する準拠性はCE マークにより証明されています。



EC 適合宣言書

製造者名:	ClearOne Communications
製造者住所:	Edgewater Corporate Park South Tower 5225 Wiley Post Way, Suite 500 Salt Lake City, Utah 84116 U.S.A.
EU地区代表者名:	ClearOne Communications Ltd.
EU地区代表者住所:	Atlantic House Imperial Way Reading Berkshire RG2 0TD United Kingdom
モデル:	MAX Wireless, MAXAttach Wireless.

### 理事会による指令に準拠する製品標準規格:

#### EMC - 2004/108/EC 「電磁環境適合性(EMC)指令」:

EN 55022: 2006 (放射)	情報技術装置－電波障害特性－制限と測定方法。
EN 61000-3-2: 2004	パート3: 制限－セクション2: 高調波電流放出に対する制限。
EN 61000-3-3: 2002	セクション3: 定格電流16A以下の機器への低圧電源システムにおける電圧変動およびフリッカに関する制限。
EN 55024: 1998 (耐性) + A1+A2	情報技術装置－電磁波耐性の特性－制限と測定方法。
EN 61000-4-2: 2001	静電放電耐性
EN 61000-4-3: 2002	RF放射耐性
EN 61000-4-4: 2004	電気的高速トランジェント耐性
EN 61000-4-5: 2005	雷サージ耐性
EN 61000-4-6: 2004	RF電動耐性
EN 61000-4-8: 1993	電力周波数磁場耐性
EN 61000-4-11: 2004	電圧ディップと停電



## 安全性- 73/23/EC 「低電圧指令 (LVD)」:

IEC 60950-1: 2001

事業用装置を含む情報技術装置の安全性。

## 電気通信- 1999/5/EC 無線装置・通信端末装置(R&TTE)指令

ETSI ES 203 021 - 1, 2 and 3

アクセスと端末(AT);電話ネットワークのアナログインターフェース接続用端末に対する調整基本付属物要綱;TBR 021、EN 301 437、TBR 015、TBR 017の技術内容の更新;パート1:一般的側面、パート2:基本伝送とネットワークの損傷保護、パート3:公共電話網との基本相互作用。

## 無線装置:

EN 300 328 V1.6.1 (2004-11)

電磁環境適合性と無線スペクトラム事項(ERM);広帯域通信システム;2.4GHz ISM帯域データ通信装置操作と広帯域変調技術の使用;R&TTE指令3.2条下の必須条件を対象とする調整EN。

## RoHS - 2002/95/EC電気・電子機器(EEE)およびWEEE 中の一定の有害物質の使用に関する制限 - 2002/96/EC 電気・電子機器(EEE)の廃棄。

我々はこの上に記製品はEU指令2002/95/ECおよび同指令2002/96/ECに準拠していることを証明する。

我々署名者はここに上記指定の装置は上記指令および標準規格に適合していることを宣する。発行日:2007年8月31日

製造者



署名

Tracy Bathurst  
最高技術責任者

欧州地区法定代理人



署名

Martin Offwood  
EMEA North取締役

## 保証

ClearOne Communications, Inc.(以下「製造業者」)は、その材質および状態に欠陥がないことを保証します。保証情報ならびに補償範囲については、ClearOneのホームページ([www.clearone.com](http://www.clearone.com))をご覧ください。

ClearOne Communications, Inc.  
5225 Wiley Post Way  
Salt Lake City, Utah 84116